LAWGUE

サービス紹介資料

いつものAIで、契約ナレッジを、思いのままに。

案件の状況も、交渉の経緯も、自社のプレイブックも。
あなたのAIが、ぐんと契約に強くなる。

FRAIM

17003799(01)

契約業務に、3つの「分断」が起きています。

ツールもAIもそろっているのに、契約の仕事はなかなか楽にならない。原因は、この3つにあります。

01

契約書サービスの分断

契約書は契約書サービスのAI、ほかの業務は自社の生成AIと、使うAIが分かれているため、自社のAIで過去の契約をふまえるには毎回探して貼り付けるしかなく、結局は自分で探して読み直したほうが早い。

02

プロセスの分断

依頼はメール、相談はTeamsやSlack、修正はWordと、1件の経緯がツールごとに散らばっているため、確かめるたびに探し回るうえ、AIに渡せる形にもなっていない。

03

ナレッジの分断

交渉の落としどころや判断の理由は、担当者の頭の中か契約書サービスの中に埋もれてAIからも引き出せず、担当が替わるたびに一から調べ直すことになり、最悪の場合は過去と食い違う条件で結んでしまう。

© FRAIM Inc. All rights reserved.

その分断を、LAWGUEがつなぐ。

契約書も、やり取りも、判断の理由も、案件ごとに1か所に集め、いつものAIから使えるようにする。

01

契約業務も、いつものAIで

LAWGUEを自社の生成AIにつなげば、ほかの業務と同じ画面のまま、過去の契約をふまえたレビューや修正まで頼めるので、AIを使い分ける必要がなくなる。

02

経緯が、ひとつにまとまる

メールやTeams、Slackで届いた依頼も、Wordでの修正も、案件ごとにLAWGUEに集まるので、探し回らずに状況がわかり、そのままAIにも渡せる。

03

判断理由まで残り、使える

条項ごとのコメントや交渉の履歴が契約書と一緒に残るので、担当が替わっても、いつものAIに聞けば過去の判断をふまえた答えが返ってくる。

© FRAIM Inc. All rights reserved.

依頼する。見直す。結ぶ。残す。活かす。

どの契約も、どの段階でも、いつものAIとLAWGUEで。

STEP 01	STEP 02	STEP 03	STEP 04	STEP 05
依頼がすぐ案件に	**リスクも基準も確認**	**電子契約と連携**	**経緯を案件に保存**	**判断をナレッジ化**
メールやフォームで依頼すれば案件になり、進み具合もAIに聞けばわかる。	自社基準と過去の判断まで、AIが一般的なリスクと合わせて見る。	締結は電子契約サービスと連携し、案件の流れを止めずに進める。	作業のたびに、コメントや修正の履歴が契約書にひもづいて残る。	依頼から締結までの積み重ねを、AIが根拠つきで引き出せる。

© FRAIM Inc. All rights reserved.

依頼が届いた時点で、案件になる。

事業部はいつものメールやフォームから依頼するだけ。法務は受付から進み具合まで、一覧で追えます。

依頼の入口をそろえる

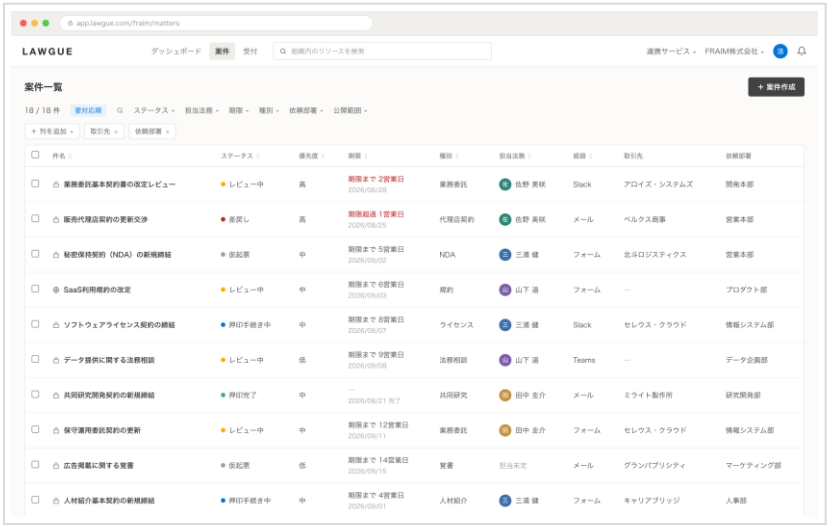
メールと受付フォームから届いた依頼を、件名・依頼者・部署・添付ごと受付一覧に集めます。受け漏れを防ぎます。

そのまま案件にする

受け付けた依頼はワンクリックで案件になり、担当と期限を割り当てられます。

「いまどうなってる？」にすぐ答える

ステータス・期限・担当を一覧で把握でき、期限が近い案件もすぐ見つかります。進み具合はAIに聞いても確かめられます。



案件一覧のイメージ

© FRAIM Inc. All rights reserved.

一般的なリスクに、自社の基準と判断を重ねる。

いつものAIへの頼み方（例）	生成AIだけの場合	LAWGUEとつないだ場合
この契約書をレビューして	一般的な法律知識にもとづく指摘にとどまる	自社の審査基準（プレイブック）と照らし、社内基準から外れた箇所を指摘
過去の交渉もふまえて確認して	過去の経緯を知らず、答えられない	過去案件の交渉コメントを参照し、以前断った条件の再提示に気づける
修正案を反映して	文面の提案まで。反映は手作業	修正をLAWGUEの契約書へ履歴つきで反映
自社の契約の傾向を教えて	手元のファイルだけで答える	蓄積した案件と契約書を横断して分析

最終的にどこを直すかは、ご担当者が確認して決めます。

© FRAIM Inc. All rights reserved.

いつものチャットから、根拠つきでレビュー。

頼み方はひとこと

案件名や契約書名を伝えるだけで、関連する契約書をAIがLAWGUEから探します。

根拠つきで指摘

プレイブックと過去の交渉記録をもとに指摘し、どの記録にもとづくかも示します。

差分比較・類似契約検索もそのまま

版ごとの差分、似た条項や落としどころの検索は、LAWGUEの画面からも使えます。

生成AIからのレビューのイメージ

© FRAIM Inc. All rights reserved.

結ぶまでの経緯が、案件の中にそろう。

締結は電子契約サービスと連携

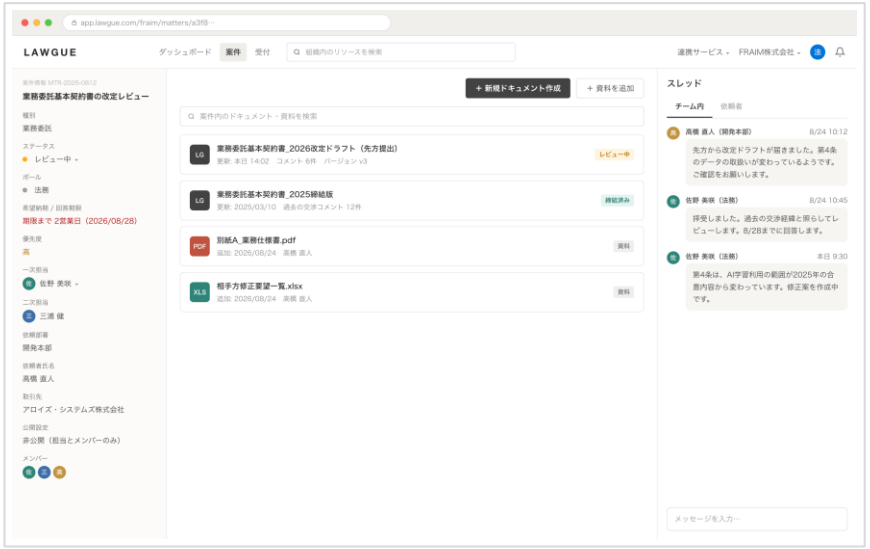
クラウドサインと連携し、案件の流れを止めずに締結へ進めます。

案件のすべてが1画面に

契約書のドラフト・締結版・別紙と、担当・期限・取引先を案件ごとに束ねます。

作業のたびに、経緯が残る

条項ごとのコメントと修正の履歴が契約書にひもづいて残り、いつ・誰が・何を変えたかを版ごとにたどれます。



案件詳細のイメージ

© FRAIM Inc. All rights reserved.

積み重ねた判断が、AIの根拠になる。

依頼から締結までの積み重ねを、いつものAIが根拠つきで引き出せます。

お使いの生成AI
Copilot・Claude・ChatGPT・Gemini

⟷

MCPサーバー
AIの画面から契約書と案件を扱う

⟷

LAWGUE
案件・契約書・交渉の履歴

01

自社の判断を前提に答える

一般論ではなく、自社の契約と過去の判断を前提に答えます。

02

答えの根拠を確かめられる

どの契約書や交渉記録にもとづくかを、その場で確かめられます。

03

生成AIがなくても使える

案件管理からレビュー、締結までの機能は、LAWGUEの画面からそのまま使えます。

© FRAIM Inc. All rights reserved.

日々の契約業務を、確かに前へ進める機能。

法務も事業部も、迷わず使える。

受付フォーム

メールやフォームの
依頼を、決まった形で
受け付け。

ダッシュボード

案件の種類・部署・
期間ごとに、
進み具合を一覧に。

ファイル添付

PDF・PowerPoint・
Excelも案件に
添付して確認。

AI補助レビュー

自社の基準や
過去の契約をもとに、
論点を抽出。

差分比較

版ごとの変更点を
自動でハイライト。
Wordの書式もそのまま。

類似契約検索

過去の案件から、
似た条項や
落としどころを検索。

電子契約との連携

電子契約サービスと
連携して、
締結まで進める。

バージョン管理

いつ・誰が・何を
変えたかを、
版ごとに記録。

コメント履歴

条項ごとのコメントと
修正の経緯を、契約書に
ひもづけて保存。

MCP連携

いつもの生成AIから、
案件と契約書を
検索・レビュー・修正。

© FRAIM Inc. All rights reserved.

法務も事業部も、AIも。

依頼する人

契約を依頼する事業部

- いつものメールやフォームから依頼するだけ
- 依頼した案件の進み具合を確かめられる
- 法務とのやり取りが案件にまとまって残る

見直す人

契約を審査する法務担当

- 受付から締結まで、案件を一覧で追える
- 差分比較や類似契約検索で、見直しが速くなる
- 判断の経緯が残り、引き継いでもたどれる

AI

いつも使っている生成AI

- 自社の基準と過去の判断を前提に答える
- どの記録にもとづく答えかを確かめられる
- MCPサーバーの登録で、AIの画面から契約書と案件を扱える

© FRAIM Inc. All rights reserved.

契約のたびの手作業が、こう変わります。

BEFORE	AFTER
依頼がメール・チャット・口頭とばらばらに届き、受け漏れや二重対応が起きる	**依頼は受付一覧に集まり、そのまま案件に。担当と期限もその場で決まる**
「あの契約、いまどうなってる？」の確認に追われる	**進み具合は一覧でわかり、AIに聞いても確かめられる**
過去の契約をAIに読ませるたびに、探してコピーして貼り付ける	**いつものAIから、LAWGUEの契約書と交渉の履歴をそのまま使える**
担当が替わるたびに、交渉の落としどころを調べ直す	**判断の理由が契約書と一緒に残り、誰が引き継いでもたどれる**

© FRAIM Inc. All rights reserved.

よくあるご質問

Q　いつも使っている生成AIとつなげられますか？

A　はい。Copilot、Claude、ChatGPT、Geminiなど、お使いの生成AIにLAWGUEのMCPサーバーを登録すると、AIの画面から契約書や案件の情報を検索・レビュー・修正に使えます。

Q　生成AIを導入していなくても使えますか？

A　はい。案件管理からレビュー、締結までの機能は、LAWGUEの画面からそのままお使いいただけます。生成AIを導入したあとに、つないで使い始めることもできます。

Q　事業部のメンバーも使えますか？

A　はい。事業部の方はメールやフォームから依頼でき、LAWGUE上で法務とやり取りできます。

Q　これまでの契約書も活用できますか？

A　はい。過去の契約書を登録すると、契約類型や当事者が自動で判定され、検索やAIのレビューに使える形で整理されます。

Q　電子契約サービスと連携できますか？

A　クラウドサインと連携しています。締結までの流れを、案件の中で止めずに進められます。

© FRAIM Inc. All rights reserved.

ご利用の規模に合わせて、ご提案します。

料金はご利用の規模に応じて

ご利用の人数や範囲に応じて、お見積りします。グループ会社でのご利用もご相談ください。

エンタープライズ水準のセキュリティ

運営元のFRAIMはISMS認証・プライバシーマークを取得。ホワイトペーパーのご用意、チェックシートへの個別対応も可能です。

導入は最短4ステップ

ヒアリング・デモ、トライアル、お申込み、本導入の順に進めます。導入後もカスタマーサクセスが活用を支援します。

ご利用料金

個別にお見積りします

ご利用の人数や範囲をお伺いし、
お見積りをご提示します。

お問い合わせ
sales_team@fraim.co.jp

© FRAIM Inc. All rights reserved.

契約はLAWGUE、規程はLAWGUE規程管理。

契約書と社内規程。それぞれに、専用のLAWGUEがあります。

LAWGUE

対象業務｜契約書

自社が何を受け入れ、何を断ってきたか。
交渉の経緯が案件ごとに残り、
いつものAIから引き出せます。

案件管理
依頼の受付から進捗まで、1か所で追える

AI補助レビュー
一般的なリスクと自社基準を、まとめて確認

MCP連携
いつものAIに聞けば、案件の状況も経緯も出てくる

LAWGUE 規程管理

対象業務｜社内規程

社内規程を放り込むだけで、
規程同士の参照関係ができます。
どこを直せばどこに及ぶかが、改定の前にわかります。

まとめて取込
Wordの規程も関連資料も、そのまま入れられる

関係グラフ
どの規程がどれに紐づくかが、一目でわかる

MCP連携
いつものAIに聞けば、規程同士の影響まで特定できる

© FRAIM Inc. All rights reserved.

OUR VISION

文書作成を、再発明する

OUR MISSION

この世に毎日うまれる、数十億の文書。
その一枚一枚を、もっと速く、正確につくれたなら、人類の働き方は、どれほど豊かになるだろう。
そんな問いから、私たちは、文書作成を「しくみ」ごと変えることにしました。
AIをはじめ、あらゆる技術で、次なる文書体験を開発していきます。
あたらしい働き方を、日本から、世界へ。私たちは、フレイムです。

会社概要

社名	FRAIM株式会社（FRAIM Inc.）
設立	2018年4月27日
代表者	代表取締役社長 兼 CTO　宮坂 豪
所在地	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-17-14 MSD20ビル5階
資本金	1億円
従業員数	約60名（2026年4月時点）
事業内容	文書業務支援に関するAIサービスの研究・開発・提供
提供サービス	LAWGUE ／ LAWGUE規程管理 ／ スグラク
WEB	https://fraim.co.jp/

資本業務提携先

DAI-ICHI HOKI
PRONEXUS
弁護士ドットコム
AI inside
Suzuyo

受賞歴

Forbes 30 UNDER 30 ASIA 2021
Forbes 30 Under 30 Asia 2021
（創業者 堀口）

第8回 MUFGビジネスサポート・プログラム Rise Up Festa
Rise Up Festa（2021年）
DX部門 最優秀企業賞

© FRAIM Inc. All rights reserved.

沿革

2018	4月	株式会社Autoract （現 FRAIM株式会社）設立
2019	5月	LAWGUEのクローズドβ版をリリース
	11月	弁護士ドットコム株式会社と資本業務提携
2020	9月	第一法規株式会社、新日本法規出版株式会社 などと資本業務提携
2021	4月	創業者の堀口が Forbes 30 Under 30 Asia 2021に選出
	10月	商号を株式会社日本法務システム研究所から FRAIM株式会社に変更
	11月	経済産業省の実証調査事業に LAWGUEを提供開始
2022	2月	デジタル臨調の法制事務デジタル化 検討チームに、創業者の堀口が選出
	3月	株式会社プロネクサスと資本業務提携
2023	4月	デジタル庁の法制事務DX化の 実証調査事業に参画
2024	5月	デジタル関係制度改革検討会 デジタル法制 ワーキンググループに代表の宮坂が選出
2025	8月	法務AIの国際コンペ「COLIEE 2025」で3位 「ICAIL 2025」で論文が採択
	11月	文書業務特化型AIエージェント 「FRAIM AI Agent」をリリース
2026	4月	基本機能無料のWordアドイン 「スグラク」の提供を開始
	9月	LAWGUE MCPサーバーの提供を開始

© FRAIM Inc. All rights reserved.

お問い合わせ

資料をご覧いただき、ありがとうございました。

デモのご依頼・お見積り・ご質問は、下記までお気軽にご連絡ください。

FRAIM株式会社　sales_team@fraim.co.jp　／　https://lawgue.com/contract/